

今の特集

【令和2年産酒造好適米の需要量（推計値）】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。概要は次ページ以下でご紹介しています。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。

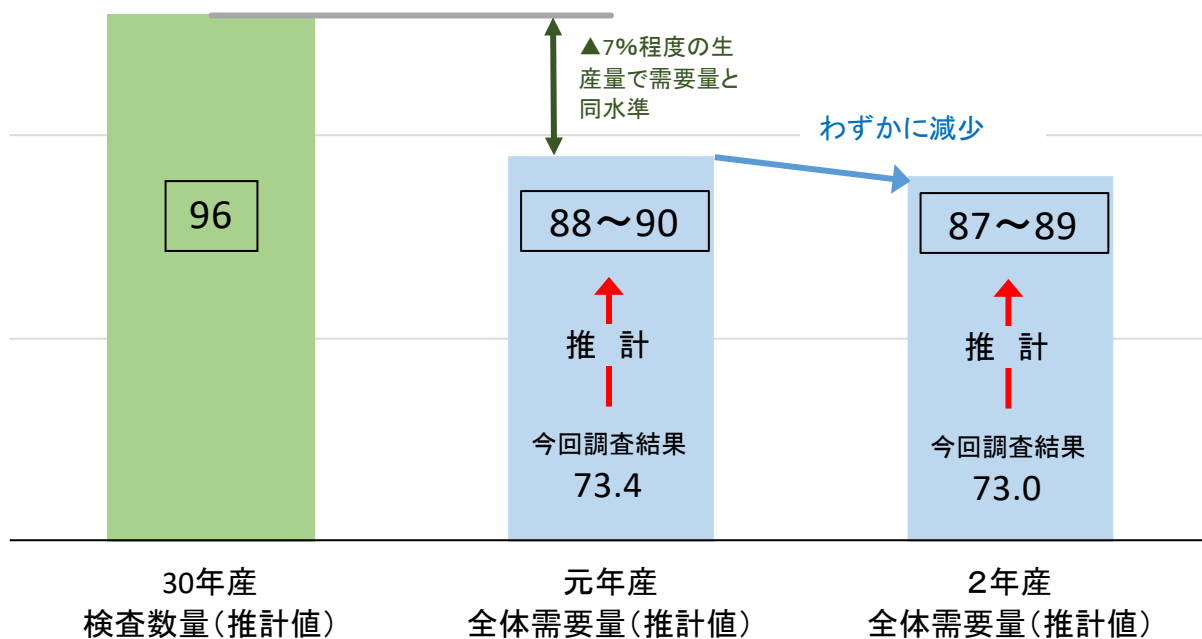
http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

【推計値について】

- ・ 令和2年産酒造好適米の全体需要量は、87～89千ト程度と推計され、令和元年産の全体需要量（88～90千ト程度）から、わずかに減少する見通しです。
- ・ 令和2年産の酒造好適米の作付けに当たって考慮すべき令和元年産の需給については、令和元年産酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる来年1月に検証し、2月号のマンスリーレポートでお知らせします。

【 酒造好適米の全体需要量（推計値） 】

（単位：千ト）



※1 「需要量（推計値）」は、各年産について今回調査で回答のあった酒造メーカーの需要量が、全体需要量の約82～84%と推計されるため、当該割合で除することにより推計。

※2 平成30年産の検査数量は、確定値が出るのが来年1月であるため、最新の速報値である平成31年3月31日現在の値を、直近3力年の3月31日現在の検査進捗率により確定値見合いに推計した値となっている。

酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- ・ 今後とも日本酒の国内外での円滑な出荷・販売のためには、原料となる酒造好適米についても需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要です。
- ・ 産地品種銘柄毎の需要動向等に応じた生産・販売を行うほか、よりの確な需要に応じた生産に資するためには、は種前に生産者と需要者が契約を行うことや複数年契約の取組の拡大を推進することが重要です。

令和元年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

- ・ 昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年7月に需要量調査を実施。

調査の概要

	平成30年度	令和元年度
調査期間	平成30年7月	令和元年7月
調査対象メーカー数	1,461社	1,430社
回答酒造メーカー数	716社	763社
回答率(数量ベース)	82～83%	82～84%

酒造好適米の需要量

平成29年産

平成29年産酒造好適米の需要量（実績）は、約77.7千トンとなった。

平成30年産

平成30年産酒造好適米の需要量（実績見込）は、平成29年産（実績）と比較して約5千トン減の72.9千トン程度。これは、平成30年産が不作で酒造メーカーの購入希望数量を供給できない地域があったことや、平成30年の日本酒出荷量が大幅に減少したことに伴い、製造計画を下方修正した酒造メーカーがあったこと等によるとみられる。このため、全体需要量（推計値）は、昨年度調査結果に基づき推計した92～94千トンから約5千トン減の87～89千トンと推計される。

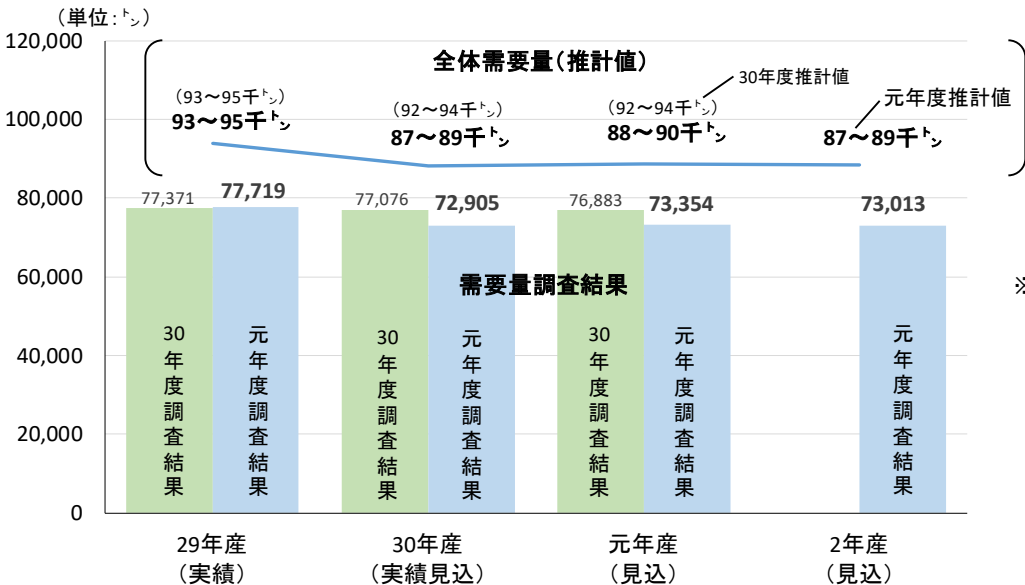
令和元年度

令和元年度酒造好適米の需要量（見込）は、平成30年産（実績見込）と比較し微増の約73.4千トン。これは、日本酒出荷量の減少に伴い、需要量を減少させた酒造メーカーがある一方、輸出向け等に需要量を増やした酒造メーカーや、平成30年産で希望数量に満たない数量しか購入できなかったため、在庫確保等のために需要量を増やした酒造メーカーがあったこと等によるとみられる。

令和2年産

令和2年産の酒造好適米の需要量（見込）は、日本酒出荷量が減少傾向にあるものの、令和元年度（見込）と比較しわずかに減少する73.0千トン程度となった。

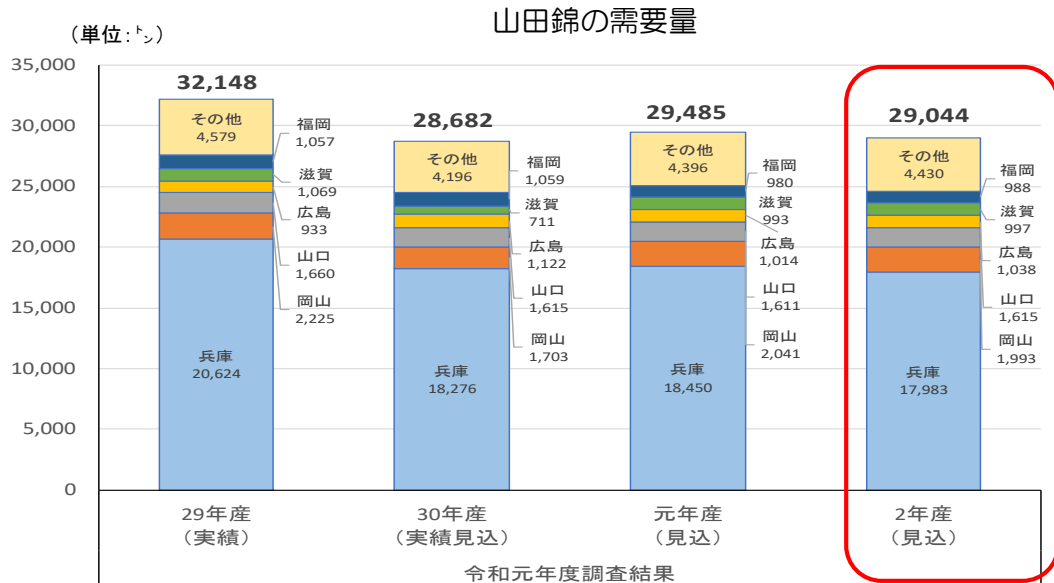
【 酒造好適米の需要量調査結果と全体需要量（推計値） 】



主な酒造好適米の需要量（酒造メーカーからの回答分）

山田錦

- 平成30年産は、不作により購入希望数量を供給できない地域（兵庫県等）があったことや、平成30年の日本酒出荷量が減少したことに伴い、製造計画を下方修正した酒造メーカーがあったこと等から、需要実績が平成29年産に比べて大幅に減少。
- 平成30年産の購入数量が減少した分、一時的に令和元年産の需要量を増加させた酒造メーカーがあったこと等から、令和元年産では需要量が若干増加し、令和2年産は前年産からわずかな減少が見込まれている。

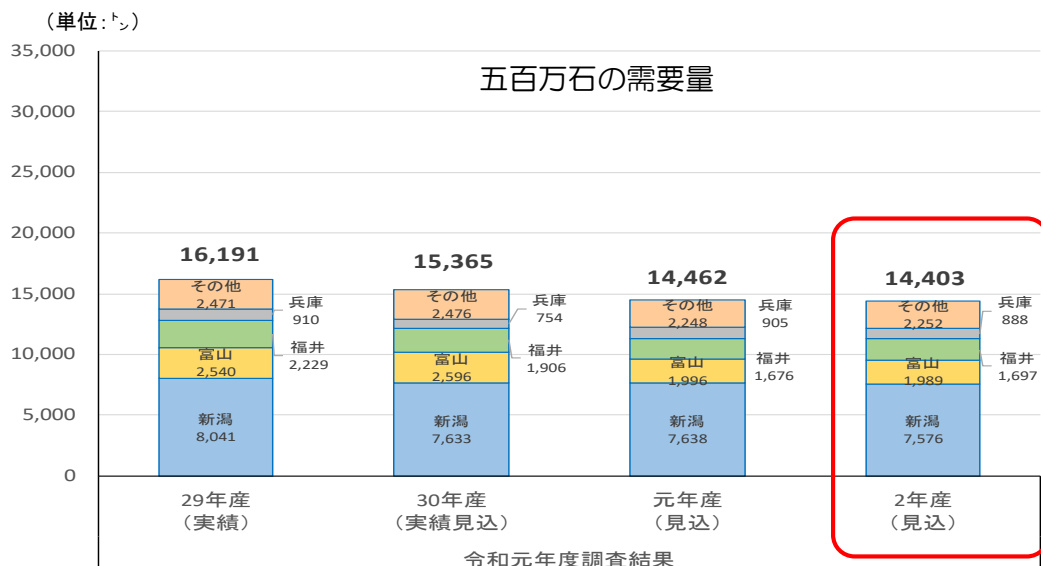


【参考】山田錦の生産量（検査数量）

37,257 38,431 34,011
 （28年産） （29年産） （30年産（推計値））

五百万石

- 平成29年産以降、総じて減少傾向となっているが、令和2年産は前年産並みの需要量が見込まれている。
- 令和2年産の産地ごとの需要量は、全体の約5割を占める新潟県のほか、それ以外の産地についても、令和元年産に比べて総じて大きな変動は見られない状況。



【参考】五百万石の生産量（検査数量）

26,030 20,564 21,560
 （28年産） （29年産） （30年産（推計値））

【 輸出される日本酒の原料に仕向けられた数量が多い上位30産地品種銘柄 】
 （平成30年産輸出仕向量）

産地品種銘柄			30年産需要量			29年産需要量		
			(実績見込) ①	輸出仕向量 ②	輸出割合 ②/③	(実績) ④	輸出仕向量 ⑤	輸出割合 ⑤/④
1	兵庫	山田錦	18,276	468	2.6%	20,624	443	2.1%
2	新潟	五百万石	7,633	222	2.9%	8,041	189	2.4%
3	秋田	美山錦	1,368	135	9.9%	1,381	129	9.4%
4	長野	美山錦	2,519	89	3.5%	2,763	117	4.3%
5	山形	出羽燦々	1,143	72	6.3%	1,307	38	2.9%
6	北海道	吟風	1,242	60	4.8%	1,384	56	4.0%
7	岡山	雄町	1,453	57	3.9%	1,606	59	3.7%
8	福井	五百万石	1,906	54	2.8%	2,229	65	2.9%
9	兵庫	五百万石	754	53	7.0%	910	42	4.6%
10	新潟	越淡麗	985	51	5.2%	1,046	47	4.5%
11	福岡	山田錦	1,059	50	4.7%	1,057	50	4.7%
12	石川	五百万石	811	50	6.2%	836	63	7.5%
13	秋田	秋田酒こまち	2,012	44	2.2%	2,084	47	2.3%
14	島根	五百万石	402	43	10.7%	419	34	8.1%
15	新潟	菊水	82	41	50.0%	75	30	40.0%
16	富山	五百万石	2,596	40	1.5%	2,540	40	1.6%
17	広島	八反錦1号	1,591	35	2.2%	1,356	28	2.0%
18	鳥取	山田錦	220	31	13.9%	238	33	13.7%
19	北海道	彗星	372	28	7.5%	370	14	3.9%
20	兵庫	白鶴錦	419	24	5.8%	469	23	4.9%
21	岡山	山田錦	1,703	23	1.4%	2,225	36	1.6%
22	岐阜	ひだほまれ	475	23	4.9%	462	18	3.9%
23	長野	ひとごち	1,105	22	2.0%	1,087	18	1.7%
24	兵庫	兵庫北錦	265	17	6.3%	270	14	5.3%
25	兵庫	兵庫夢錦	265	15	5.7%	318	13	4.1%
26	島根	山田錦	158	15	9.4%	144	15	10.1%
27	山形	出羽の里	462	14	3.0%	438	14	3.1%
28	奈良	山田錦	72	14	19.1%	64	9	14.2%
29	岩手	ぎんおとめ	289	12	4.2%	333	17	5.0%
30	高知	吟の夢	191	11	6.0%	134	7	5.3%

注： 輸出仕向量は、輸出仕向割合の回答があった酒造メーカーの数量であり、日本酒の輸出はしているものの、輸出仕向割合が未回答の酒造メーカーもあったため、実際の輸出仕向量・割合は調査結果よりも多い。

【 輸出される日本酒の原料に仕向けられた割合が多い上位30産地品種銘柄 】
 (平成30年産輸出割合、輸出仕向量10㍑以上)

産地品種銘柄		30年産需要量			29年産需要量		
		(実績見込)	輸出仕向量	輸出割合	(実績)	輸出仕向量	輸出割合
		①	②	②/③	④	⑤	⑤/④
1	新潟 菊水	82	41	50.0%	75	30	40.0%
2	奈良 山田錦	72	14	19.1%	64	9	14.2%
3	島根 神の舞	53	10	18.9%	72	9	11.8%
4	鳥取 山田錦	220	31	13.9%	238	33	13.7%
5	島根 五百万石	402	43	10.7%	419	34	8.1%
6	秋田 美山錦	1,368	135	9.9%	1,381	129	9.4%
7	島根 山田錦	158	15	9.4%	144	15	10.1%
8	北海道 彗星	372	28	7.5%	370	14	3.9%
9	兵庫 五百万石	754	53	7.0%	910	42	4.6%
10	兵庫 兵庫北錦	265	17	6.3%	270	14	5.3%
11	山形 出羽燦々	1,143	72	6.3%	1,307	38	2.9%
12	石川 五百万石	811	50	6.2%	836	63	7.5%
13	高知 吟の夢	191	11	6.0%	134	7	5.3%
14	兵庫 白鶴錦	419	24	5.8%	469	23	4.9%
15	兵庫 兵庫夢錦	265	15	5.7%	318	13	4.1%
16	新潟 越淡麗	985	51	5.2%	1,046	47	4.5%
17	岐阜 ひだほまれ	475	23	4.9%	462	18	3.9%
18	北海道 吟風	1,242	60	4.8%	1,384	56	4.0%
19	福岡 山田錦	1,059	50	4.7%	1,057	50	4.7%
20	岩手 ぎんおとめ	289	12	4.2%	333	17	5.0%
21	岡山 雄町	1,453	57	3.9%	1,606	59	3.7%
22	長野 美山錦	2,519	89	3.5%	2,763	117	4.3%
23	京都 祝	339	11	3.2%	406	10	2.4%
24	山形 出羽の里	462	14	3.0%	438	14	3.1%
25	新潟 五百万石	7,633	222	2.9%	8,041	189	2.4%
26	福井 五百万石	1,906	54	2.8%	2,229	65	2.9%
27	兵庫 山田錦	18,276	468	2.6%	20,624	443	2.1%
28	広島 八反錦1号	1,591	35	2.2%	1,356	28	2.0%
29	秋田 秋田酒こまち	2,012	44	2.2%	2,084	47	2.3%
30	山形 美山錦	489	10	2.1%	551	12	2.1%

注： 輸出仕向量は、輸出仕向割合の回答があった酒造メーカーの数量であり、日本酒の輸出はしているものの、輸出仕向割合が未回答の酒造メーカーもあったため、実際の輸出仕向量・割合は調査結果よりも多い。

以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒をめぐる状況及び酒造好適米の
 需要量調査結果」を参照ください。

URL : http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html